

令和7年2月3日
大分交通株式会社

弊社路線バスが乗車扉(後扉)を開けた状態で走行した事案について(お詫び)

この度、お客様がご乗車された状況で、弊社路線バスが乗車扉(後扉)を開けた状態で走行した事象が発生致しました。当該路線バスにご乗車されたお客様、及び関係の皆さまに多大なご迷惑、ご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

今回の事態を厳粛に受け止め、全運転士に対してバス発車時の安全確認及び基本動作を再徹底するとともに、安全装置の緊急点検を実施し、再発防止に向けて全力を挙げて取り組み信頼回復に努めてまいります。尚、本件については関係当局への報告をおこなっており、事故やお客様のお怪我はございません。詳細は下記の通りです。

記

1、発生日時

令和7年1月23日(木) 8時49分頃

2、当該路線バス

杵築駅前 8:05 発 国東行 乗車人数 1名

3、発生場所

大分空港バス停 → 小城入口バス停 間

4、発生事象

8時49分頃、「大分空港バス停」を発車する際、乗車扉(後扉)が開いている状態でバスを発車させ、次の停留所「小城入口バス停」までの約1.7kmを運行したものです。

5、原因

当該路線バス運転士の発車時におけるドア開閉状況の確認不足と、通常は乗車扉が開いている状態ではアクセルインターロックの作動により発車できない仕様となっておりますが、当該車両はその時点で不具合によりアクセルインターロックが作動しませんでした。

6、再発防止策

今般の事態を厳粛に受け止め、全運転士に対し発車時における安全確認及び基本動作の再徹底を行いました。また、全車両のアクセルインターロックが正常に作動するか緊急点検を行いました。

以上